

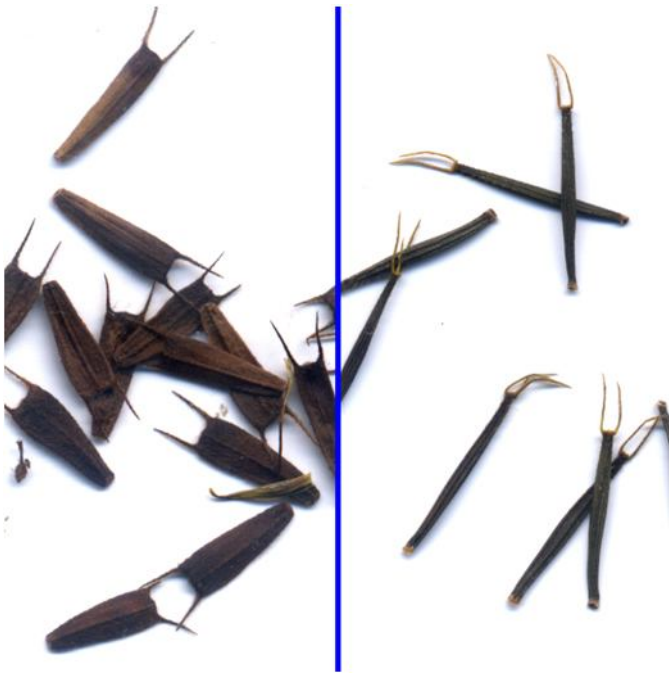
「アメリカセンダングサ(2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

昨日配信した、アメリカセンダングサの写真に誤りがあった。植物に詳しい読者の方のご指摘で、アメリカセンダングサではなく、同じ帰化植物の「コセンダングサ」*Bidens pilosa* var. *pilosa* という在来種であることがわかった。この2種はよく似ていて、まぎらわしい。私が採集した場所でも、同じ場所に隣り合って繁茂していた。



「アメリカセンダングサの種子の付き方」 布でほんの少し触れただけで、確実にくっついてくる。



「両種の種子の比較」(同縮尺)

左「アメリカセンダングサ」 右「コセンダングサ」

種子の形状は似ているが、くっつく力はアメリカセンダングサのほうが強い。枝先を袖で少しこするだけで、あっという間にくっついて、振ってもとれない。



布への付き方をよく見ると、ほぼ100%、2本のトゲのほうが刺さっているのがわかる。もし、トゲが普通の形状なら、刺さるには刺さるだろうが、布を振れば抜けるはずである。目を近づけて見ると、トゲの表面に、更に小さいトゲがついている。こうなれば、顕微鏡の出番である。(つづく)